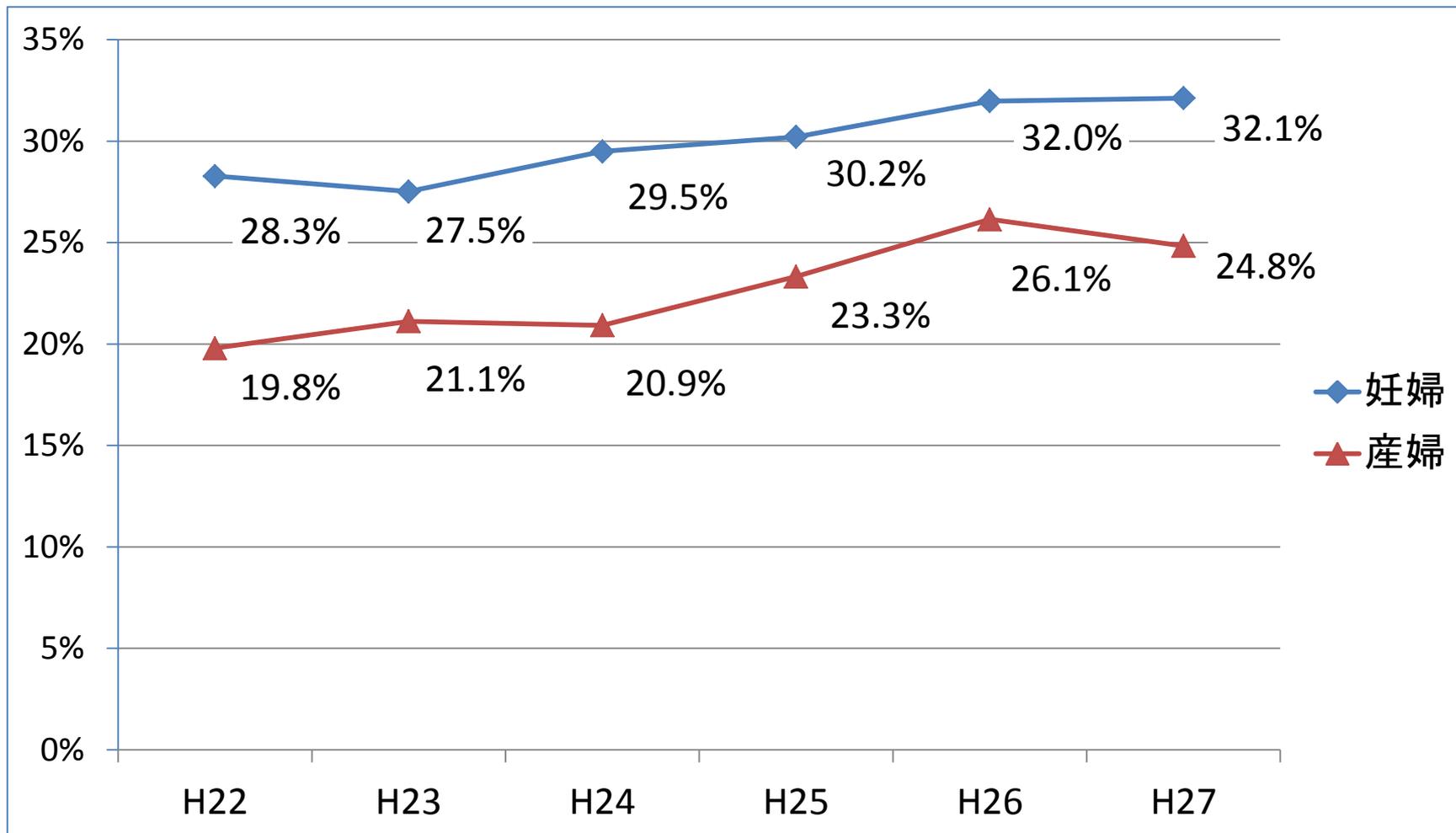


千葉市民の歯・口腔等の状況

1. 妊産婦歯科健診受診率年次推移(H22～H27年度)

○妊婦・産婦とも受診率はわずかに増加している

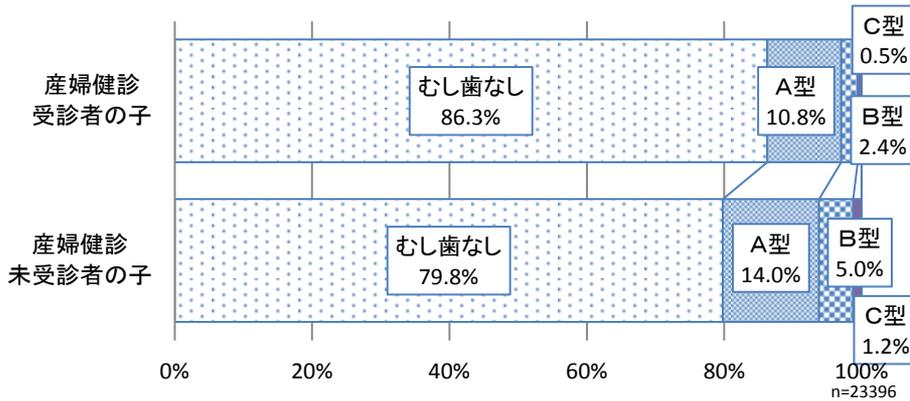


2. 産婦歯科健診と3歳児歯科健康診査の比較

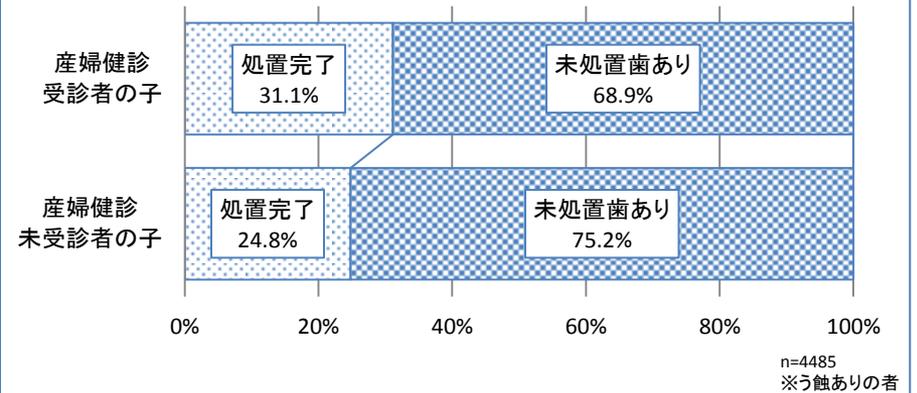
産婦歯科健診受診状況とその子どもの3歳児歯科健康診査結果を照らし合わせて調査したところ、産婦歯科健診受診者の子どもは、未受診者の子どもと比べて以下の特徴がみられた。

- むし歯を有する者が少ない
- 重度のむし歯を有する者が少ない
- 未処置歯を有する者が少ない
- 歯みがき剤の使用状況に差はないが、定期的に歯科医院でフッ化物歯面塗布や健康診査を受けている者が多い

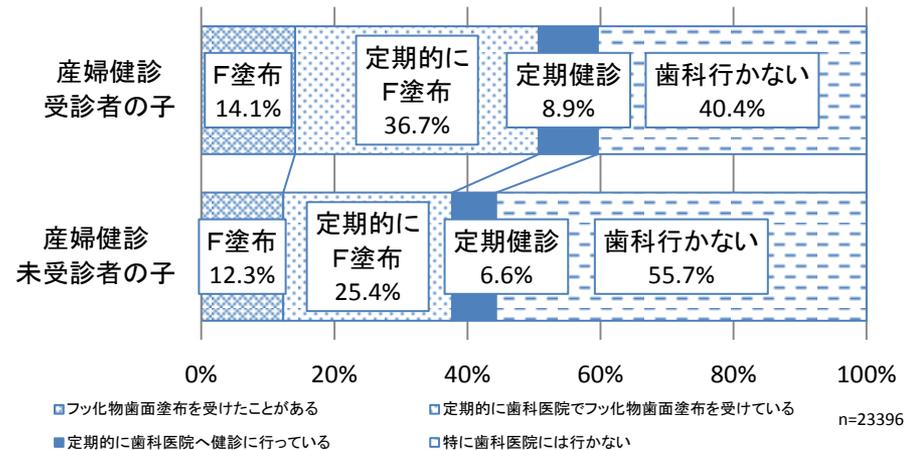
子ども(3歳児)のう蝕罹患型の比較



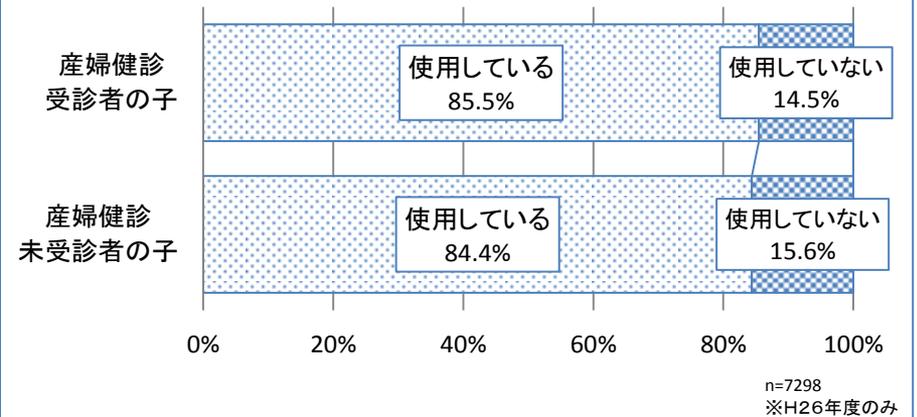
子ども(3歳児)のう蝕処置状況の比較



子ども(3歳児)のフッ化物歯面塗布と定期健診の有無の比較

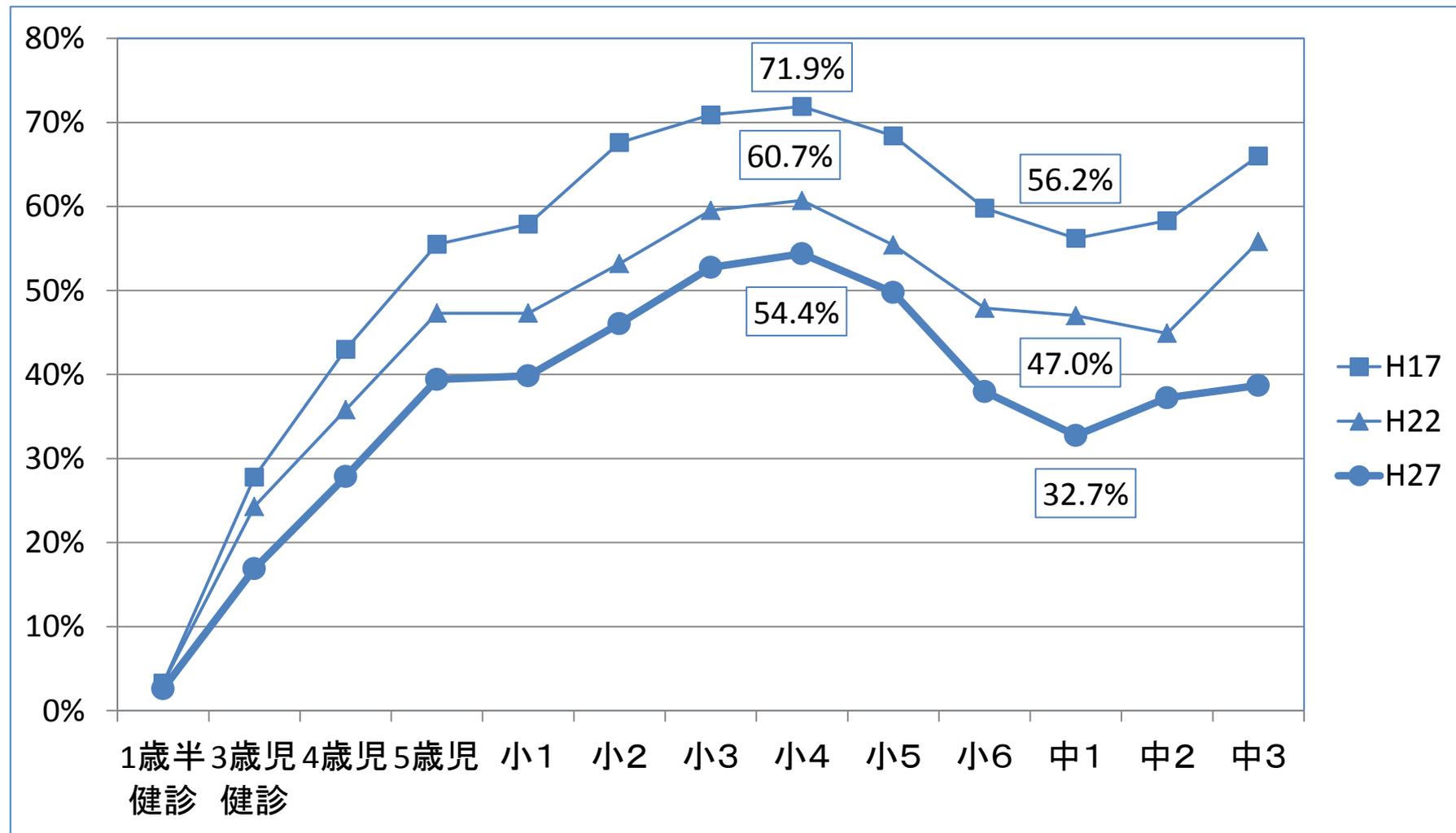


子ども(3歳児)のみがき剤使用状況の比較



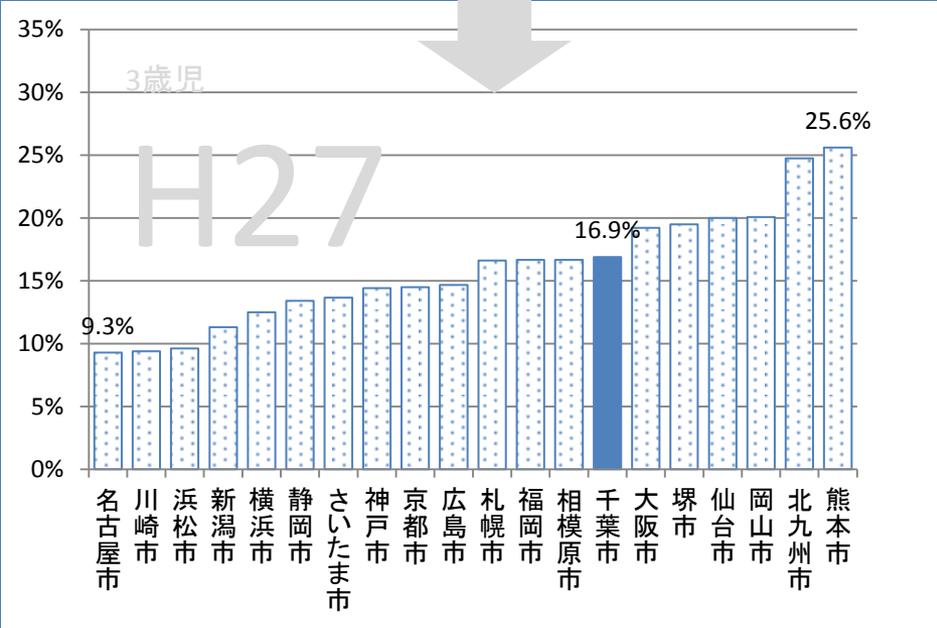
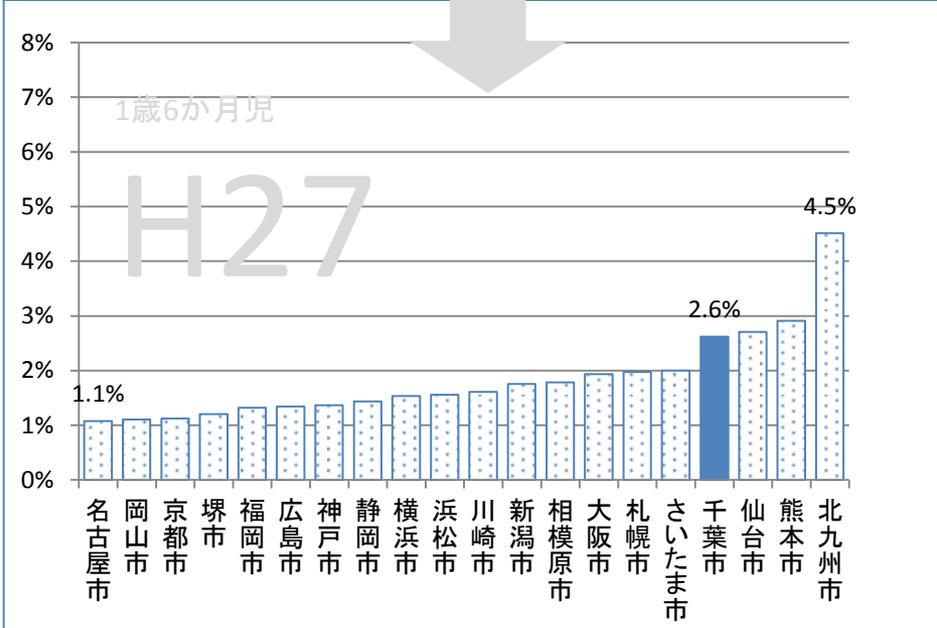
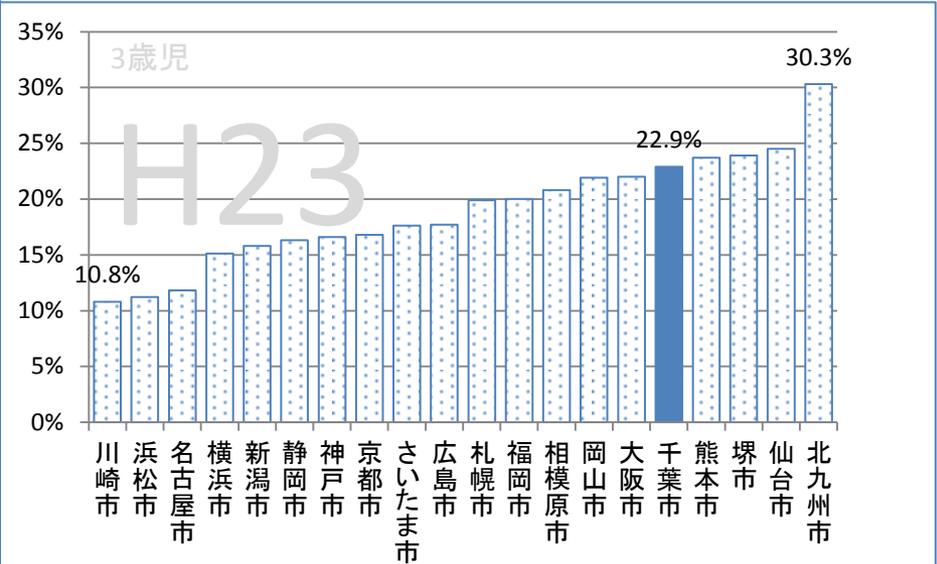
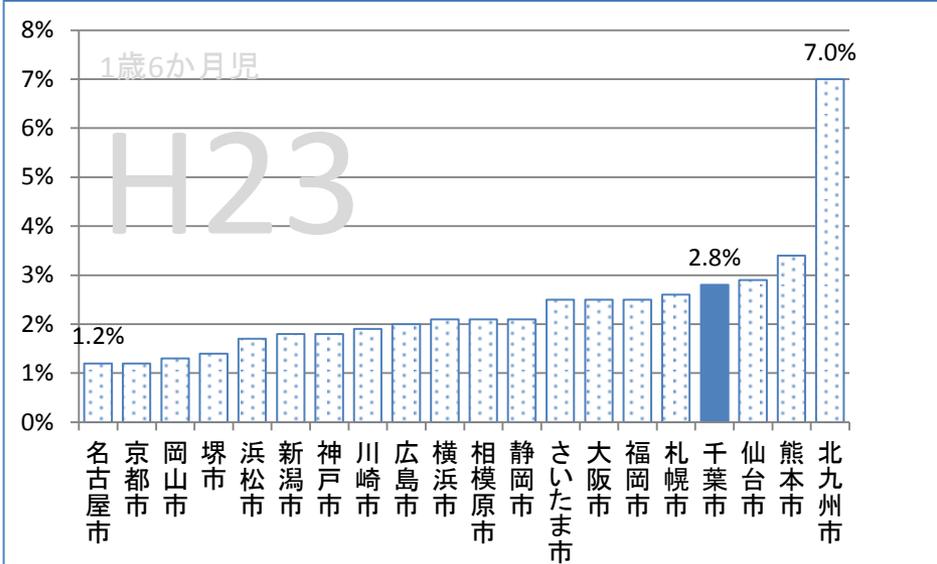
3. 幼児期・学齢期におけるう蝕有病者率(H17・H22・H27年度比較)

○経年的にう蝕有病者率は減少している



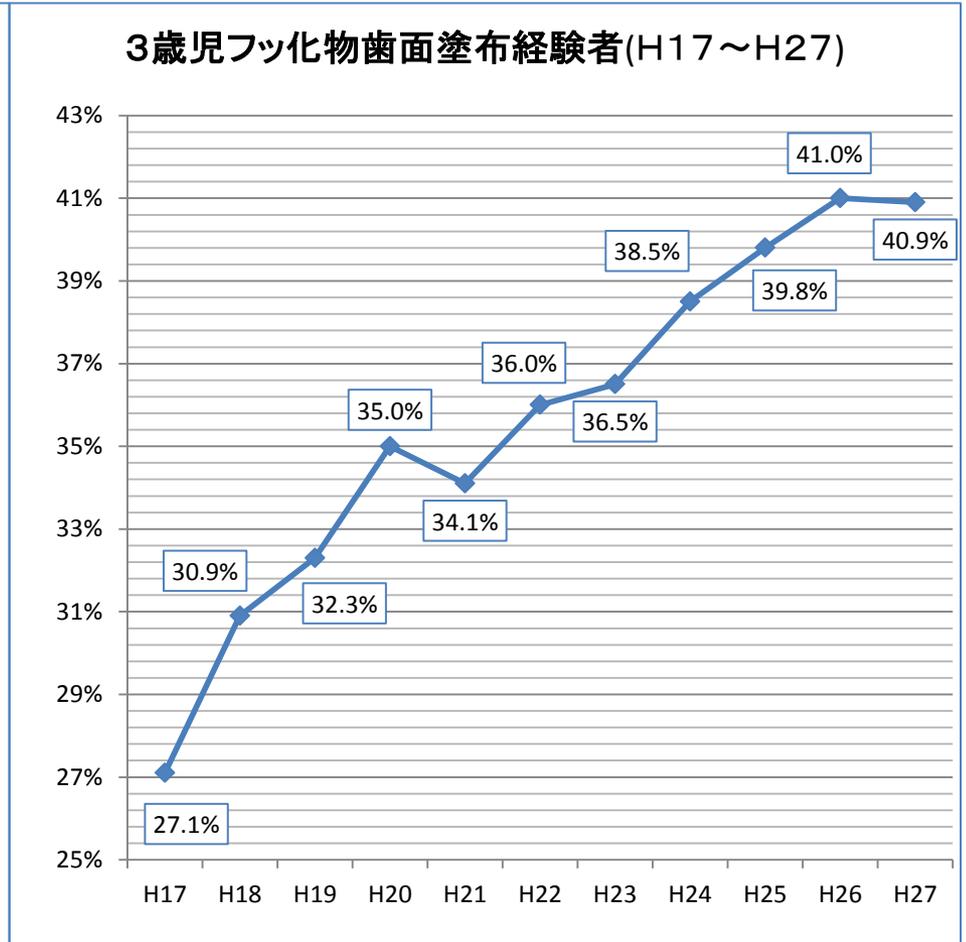
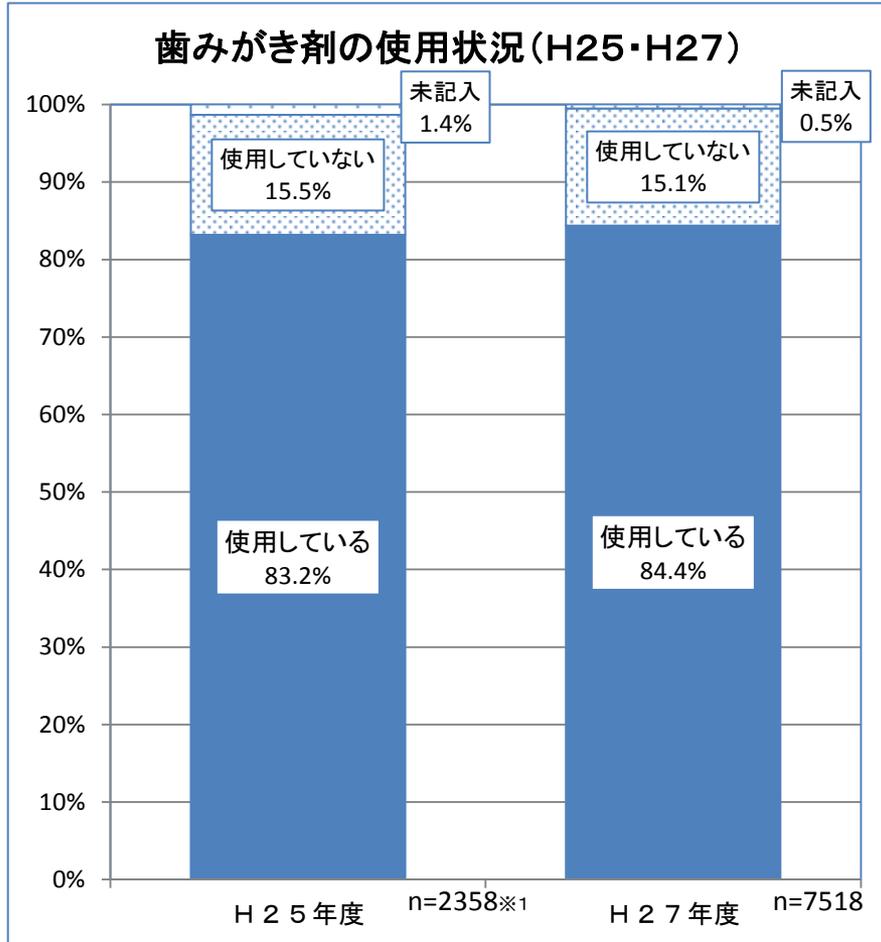
1歳半・3歳 : H17・H22・H27年度千葉市1歳6か月児・3歳児歯科健康診査結果
4歳・5歳 : H17・H22・H27年度千葉市公立保育所の歯科健康診査結果
小1～中3 : H17・H22・H27年度「千葉市の保健体育」

4. 1歳6か月児・3歳児う蝕有病者率 (H23年度・H27年度政令市比較)



5. 3歳児の歯みがき剤使用状況(H25・H27年度比較)とフッ化物歯面塗布経験者の年次推移(H17～H27年度)

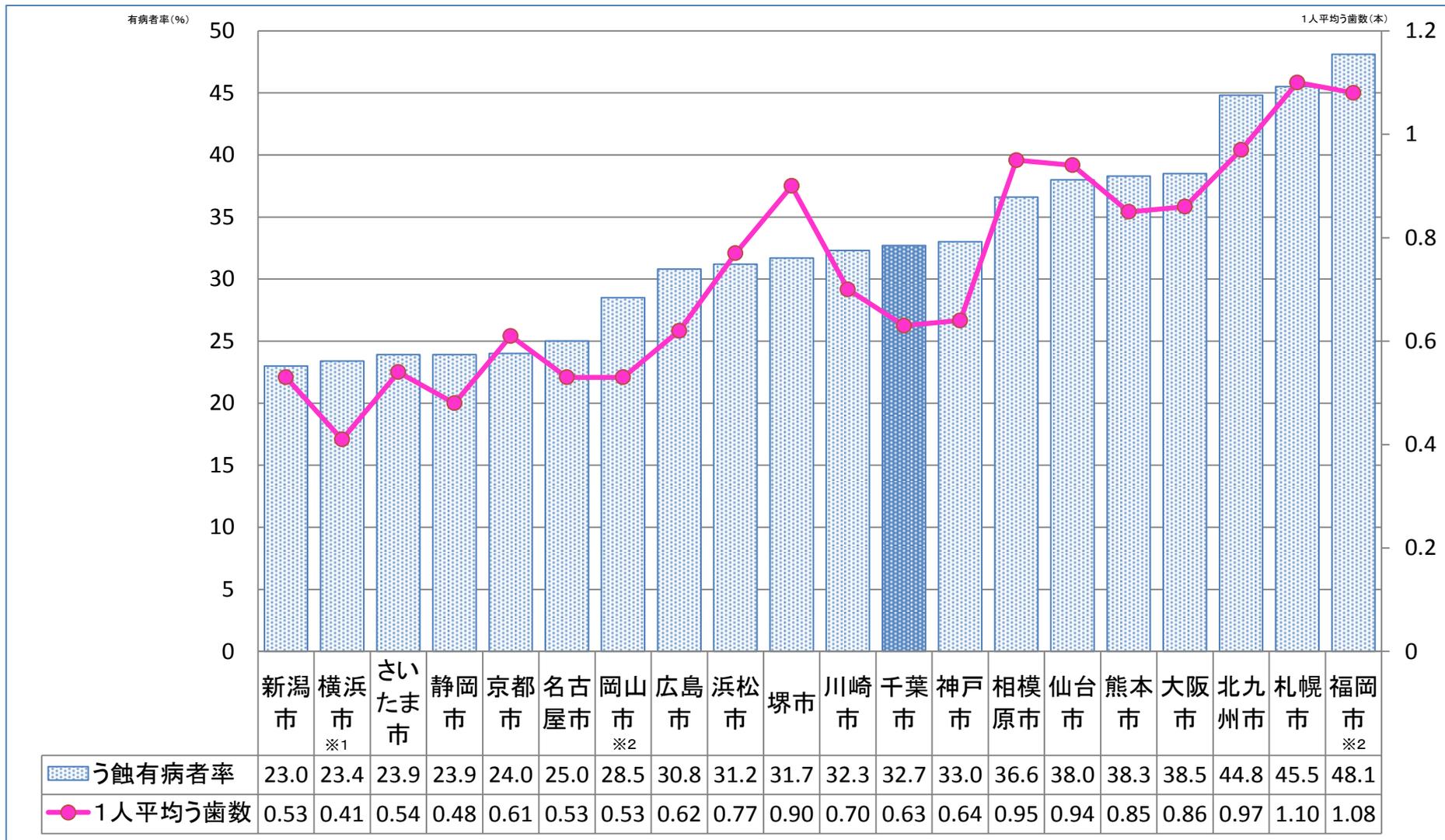
- 歯みがき剤は80%以上使用している
- フッ化物歯面塗布経験者は経年的に増加している



H17～H27年度千葉県3歳児歯科健康診査問診票集計結果
 ※1 H25年度はH25.5.1～H25.8.15の調査

6. 12歳児う蝕有病者率と1人平均う歯数（H27年度政令市比較）

○う蝕有病者率の順位は政令市の中で中盤あたりに位置する

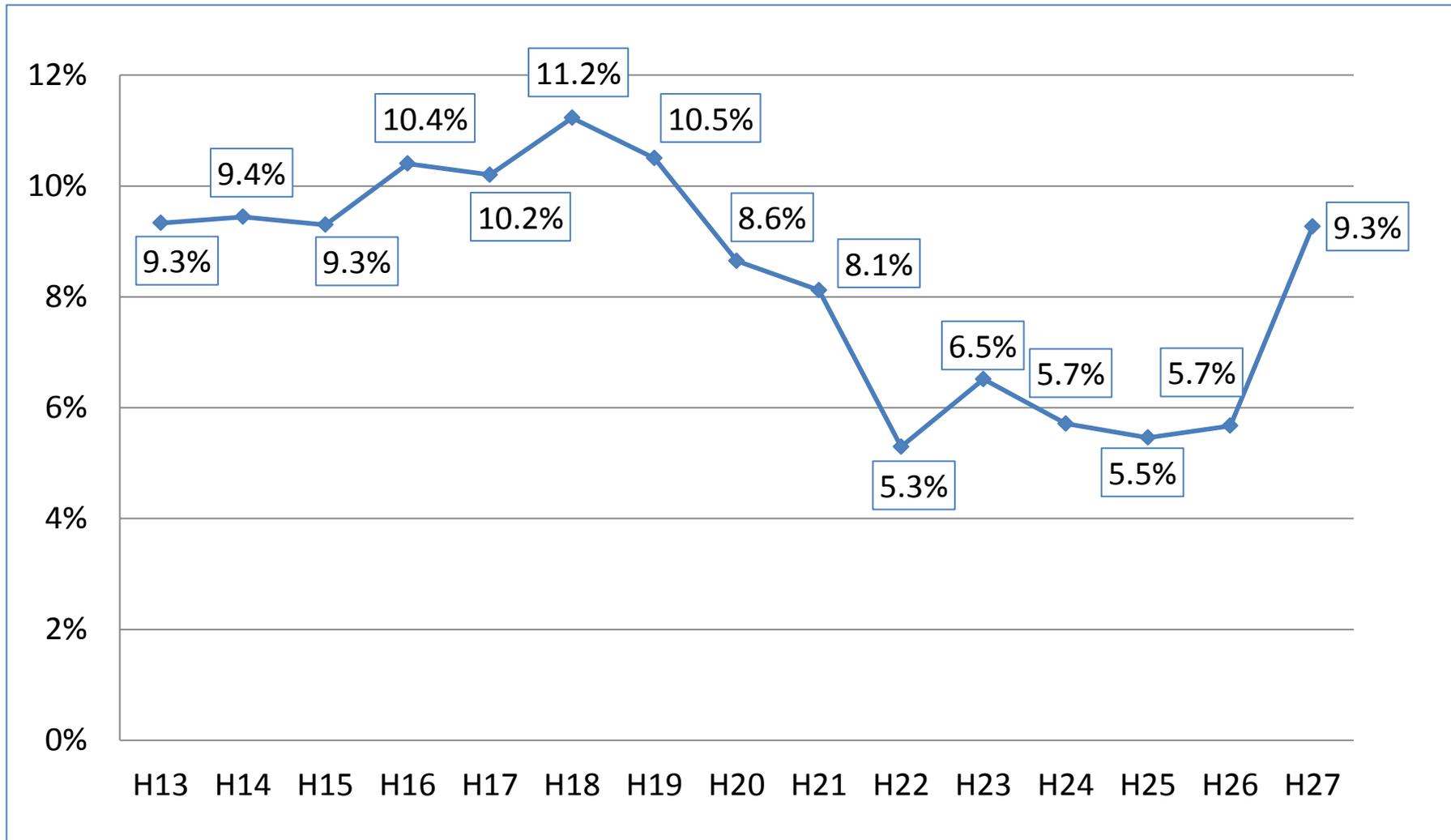


H28年度千葉市健康支援課照会結果 ※1 横浜市:小学6年生の値

※2 岡山市・福岡市:第67回指定都市学校保健協議会資料より(中学校の値)

7. 歯周疾患検診受診率年次推移（H13～H27年度）

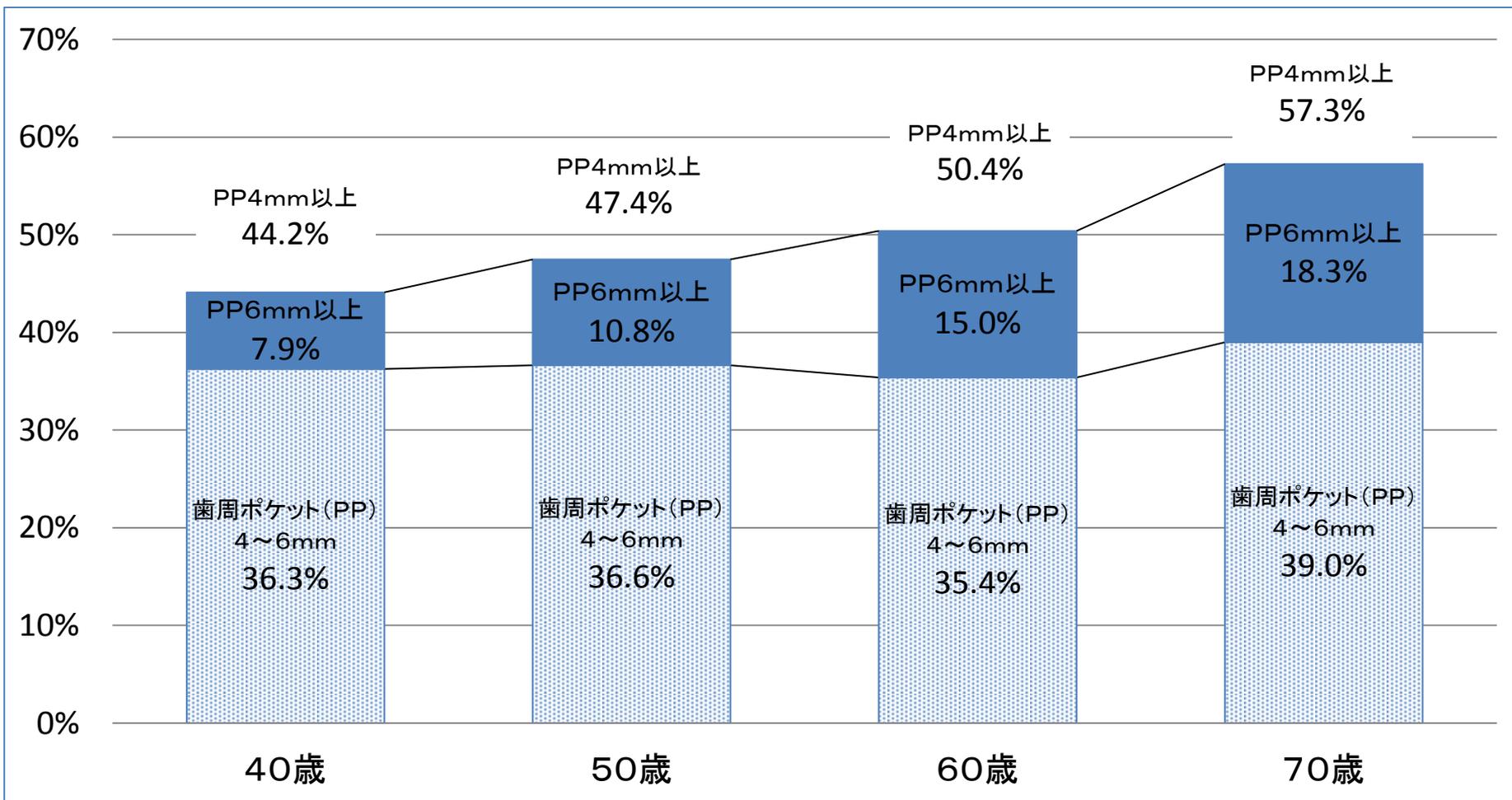
○近年受診率はほとんど変わっていなかったが、H27年度は受診率が増加した



8. 進行した歯周炎を有する者の割合（H27年度）

○年齢があがるにつれて進行した歯周炎（歯周ポケット(Periodontal Pocket)4mm以上）を有する者の割合が増加している

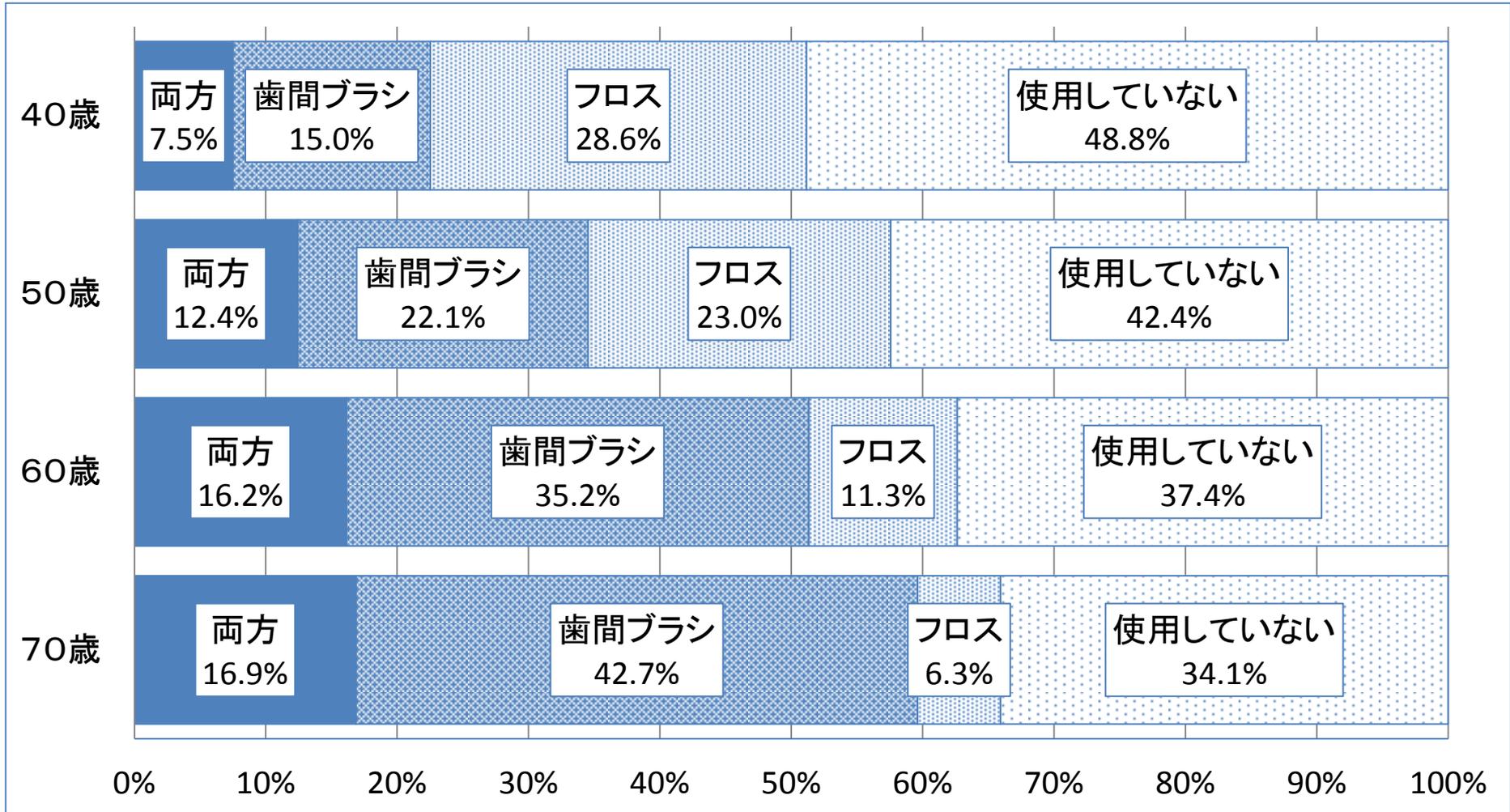
○特に歯周ポケットが6mm以上の者の割合が増加している



9. 歯間部清掃用具を使用している者の割合（H27年度）

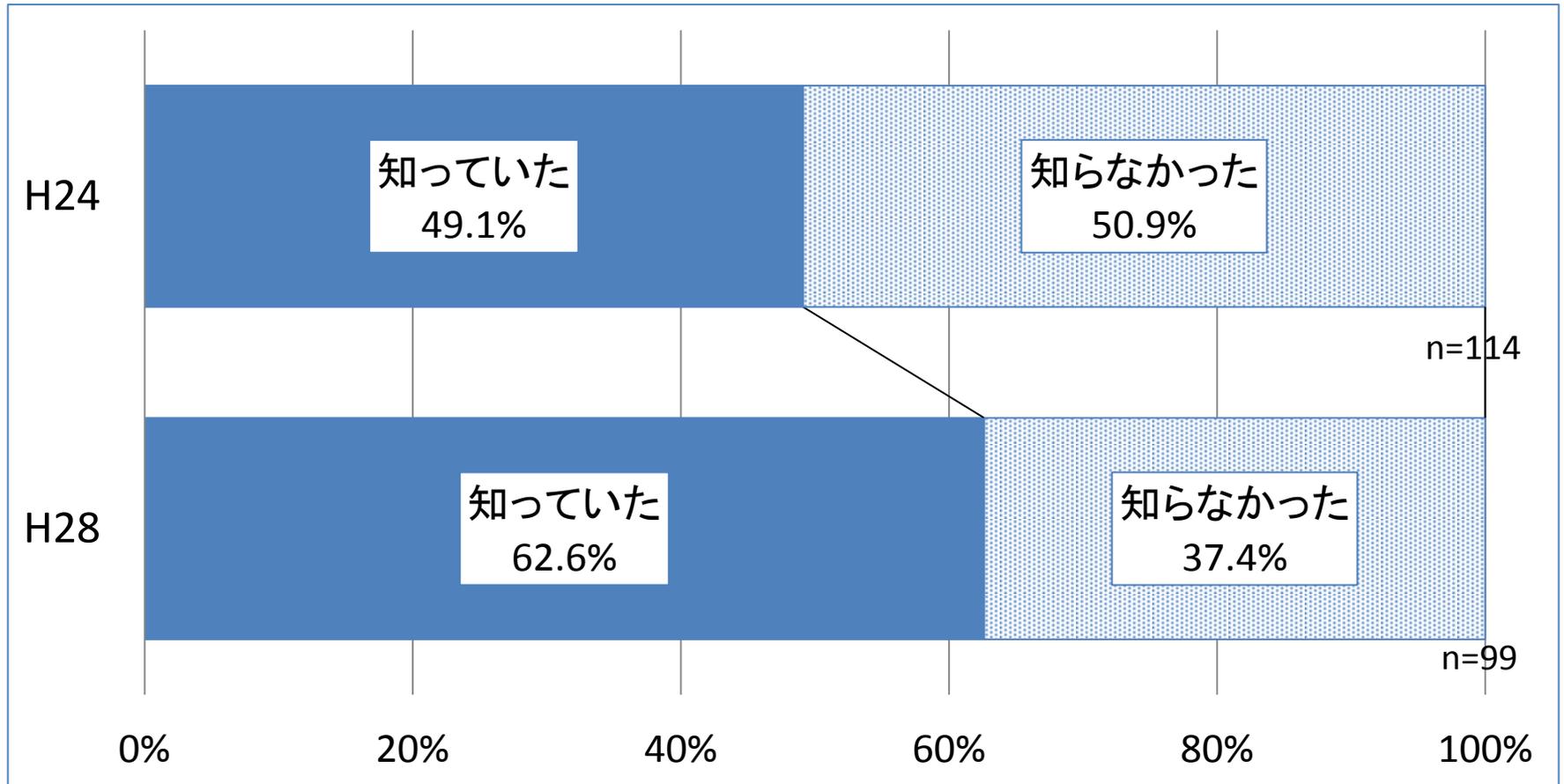
○年齢があがるにつれて歯間部清掃用具（歯間ブラシ・デンタルフロス）を使用している者が多くみられる

○40歳ではデンタルフロスの使用が多く、60歳以降は歯間ブラシの使用が多い



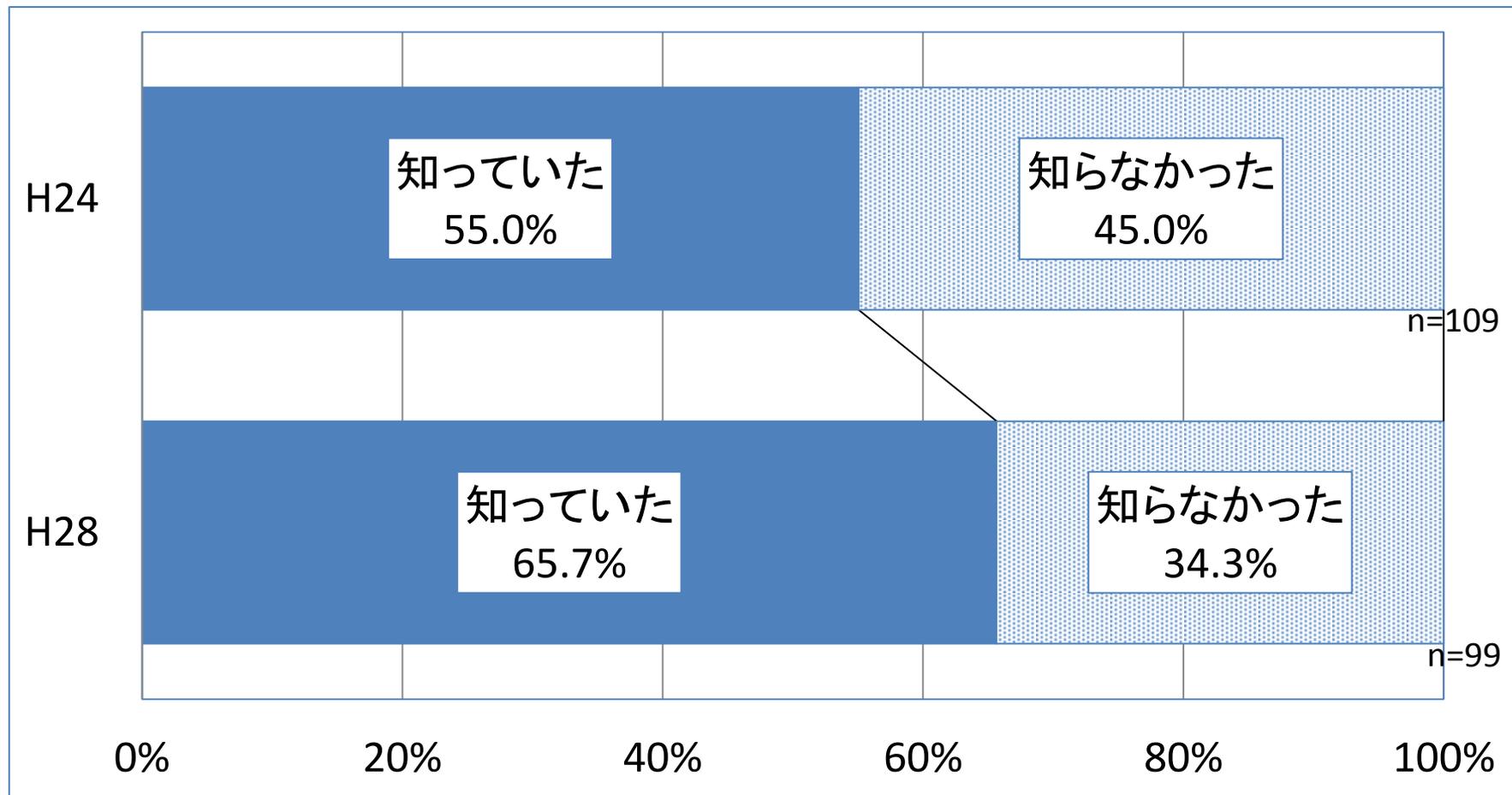
10. 口腔体操の認知度（H24・H28年度比較）

○口腔体操の認知度は経年的に増加している



11. 誤嚥性肺炎の認知度（H24・H28年度比較）

○誤嚥性肺炎の認知度は経年的に増加している



千葉県介護予防事業の効果

12. 千葉市介護予防事業

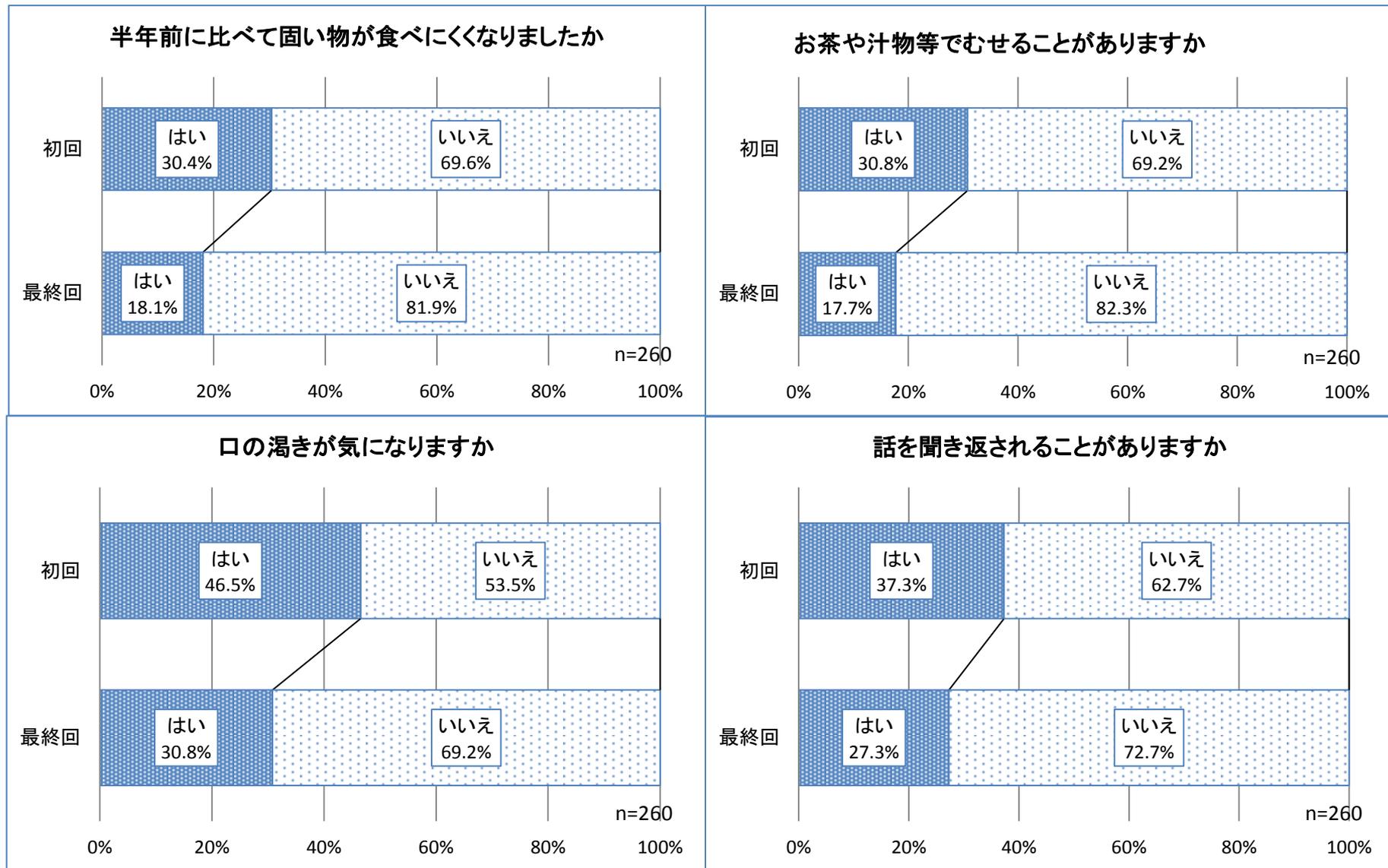
歯っぴー^{けんこう}健口教室

※H24年度から実施

目的	○口腔機能の維持・改善 ○モチベーションの向上
対象	65歳以上
実施回数	①4回コース ②2回コース
内容	●口腔機能評価 ●講話(口腔ケア・口腔体操など) ●実技(口腔体操・音楽療法など) ●個別歯科相談

13. 歯っぴー健口教室参加者の自己チェックにおける初回と最終回の比較（H27年度）

○自覚的健康観(自己チェックの各項目)について、教室参加後は気になっている者が減少した。



ちばし いきいき体操（新規）

目的	<p>○身体機能の維持・改善 ○地域活動支援 (仲間と一緒に継続して取り組めるような通いの場をつくる)</p>
対象	65歳以上
経緯	高知市開発の「いきいき百歳体操」「かみかみ百歳体操」を参考に取り組みを開始
特徴	<ul style="list-style-type: none">●DVDを見ながら行う●運動編とお口の運動編で構成●週1～2回実施する●グループで行う●運動編はおもりを用いる

15.

ちばし いきいき体操 モデル要旨

期間	○3か月間(H27年5月～8月) ○週1回各区保健福祉センターで実施
参加者	●各区1グループ15人 計90人実施 (うち9人体調悪化等の理由で中断) ●平均年齢 75.6歳 (男性26人 女性64人)
方法	・1回目(初回):内容説明と機能評価 ・2～11回目:体操実施 ・12回目(最終回):体操実施と機能評価 ・お口の運動編は、可能であれば自宅でも実施

機能評価

※初回と最終回に実施

口腔機能評価

測定種目	何を測るか	測定結果
咀嚼力判定ガム	噛む力	5段階評価(黄・緑・薄ピンク・ピンク・赤)
オーラルディア ドコキネシス	パ	唇の動き 回/秒
	タ	舌の前方の動き 回/秒
	カ	舌の後方の動き 回/秒
空ぶくぶくテスト	お口の周りの力	3段階評価(できる・少しできる・できない)
反復唾液嚥下テスト	飲み込む力	回
開口量	口腔運動機能	cm(切端間・口唇間)

自覚的健康観アンケート

質問事項	結果
①どれぐらいのものが噛めますか	4段階評価 (ない・あまりない・少しある・ある)
②日中、口の乾燥が気になることがありますか	
③口から食べ物がこぼれることがありますか	
④食事中にむせることがありますか	

16. ちばし いきいき体操 お口の体操編 モデル実施結果

- 咀嚼力判定ガム・空ぶくぶく・オーラルディアドコキネシス「パ音」について有意差がみられた
- 自覚的健康観においても維持または向上がみられた

